

# 第11回 FC-Cubicオープンシンポジウム

## ご案内

月日：2023年 7月 11日(火)  
場所：オンサイト/リモート ハイブリッド開催  
(双方向接続/ストリーミング配信併用)

### [共催]



国立研究開発法人  
新エネルギー・産業技術総合開発機構

### [後援]

山梨県



燃料電池実用化推進協議会  
Fuel Cell Commercialization Conference of Japan



公益社団法人 電気化学会  
The Electrochemical Society of Japan



公益社団法人 自動車技術会

※マスク着用につきましては、参加者各自のご判断でお願いいたします。

Nesrad 配信会場		ポスター発表
9:00	事務局説明「本日の見どころ」	<p style="text-align: center;"><b>ポスターセッション</b> Nesradロビーにて開催 Web併催</p>
9:05   9:25	<p style="text-align: center;"><b>【政策紹介】</b> <b>世界に先駆けて策定した我が国の水素基本戦略のアップデート(仮)</b> ～15兆円規模の予算と実行内容(仮)～</p> <p>経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 水素・アンモニア課 水素・燃料電池戦略室 専門官 西川 慶 様</p>	
9:25   9:45	<p style="text-align: center;"><b>基本戦略に基づく普及シナリオと連動したNEDOの取り組み(仮)</b> ～燃料電池・水素技術開発ロードマップ策定とこれから(仮)～</p> <p>NEDO スマートコミュニティ・エネルギーシステム部 燃料電池・水素室 室長 坂 秀憲 様</p>	
9:45   10:05	<p style="text-align: center;"><b>技術ロードマップを実行するために日本の産官学が果たすべき使命</b> <b>“2040年に向けたアグレッシブな研究開発”</b></p> <p>山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料センター センター長 飯山 明裕 先生</p>	
10:05   12:00	<p style="text-align: center;"><b>“課題共有2023”～世界に向けたMobilityの技術進化と課題～</b> <b>「海外動向: 世界の燃料電池Mobilityの技術動向と社会実装に向けた取り組み」</b> みずほリサーチ&amp;テクノロジーズ(株) サイエンسソリューション部 部長 米田 雅一 様</p> <p style="text-align: center;"><b>「鉄道における脱炭素化の世界の技術開発動向」</b> (公財)鉄道総合技術研究所 研究開発推進部 兼 企画室 次長 長谷川 均 様</p> <p style="text-align: center;"><b>「船舶への水素燃料電池の展開～ヤンマーにおける取り組み～」</b> ヤンマーホールディングス(株) 技術本部 中央研究所 主幹 丸山 剛広 様</p> <p style="text-align: center;"><b>「Hondaの水素事業と燃料電池多用途展開について」</b> 本田技研工業(株) コーポレート戦略本部 水素事業開発部 商品技術企画課 チーフエンジニア 村上 義一 様</p>	
12:00   13:30	<p style="text-align: center;">昼食【ラボツアー】 ※会場参加の皆様向けとなります。 オンライン参加の皆様につきましてはビデオツアーをご覧ください。</p>	
13:30   14:00	<p style="text-align: center;"><b>『日本の水素社会第2章の予感』</b> ～水素・燃料電池普及に向け“加速期”へ～</p> <p>技術研究組合 FC-Cubic 理事長 濱村芳彦</p>	
14:00   14:05	<p style="text-align: center;"><b>【ご挨拶】</b> 山梨県知事 長崎 幸太郎 様</p>	
14:05   14:30	<p style="text-align: center;"><b>『山梨から始まる水素エネルギー社会』</b> ～CO2フリーの水素社会を目指した取り組み～</p> <p>山梨県 企業局 電気課 新エネルギーシステム推進室 室長 宮崎 和也 様</p>	
14:30   15:00	<p style="text-align: center;"><b>【研究紹介】</b> <b>『山梨から世界にむけたデータ生成拠点に！』</b> <b>「評価解析プロトコルの現状と今後の課題」</b></p> <p>FC-Cubic 研究所 専務理事 小島康一 副所長 金坂 浩行</p>	
15:00   16:00	<p style="text-align: center;"><b>『Change of Energy in the World, Expection to Japanese H2 Society』</b> <b>世界の水素社会変革に対する日本の水素技術への期待</b></p> <p>International Energy Agency (IEA) Energy Technology Policy Division Timur Gul 様</p>	
16:15	閉会の挨拶	

➤ 政策動向  
日本の水素技術への期待

水素基本戦略の公開と  
日本の実行戦略



➤ 課題共有2023 Mobility研究の今後と課題  
—加速する多用途展開と普及拡大への取組—



世界動向&用途毎の  
研究動向と課題を特集

➤ 山梨から世界へ  
日本の水素技術進化への期待

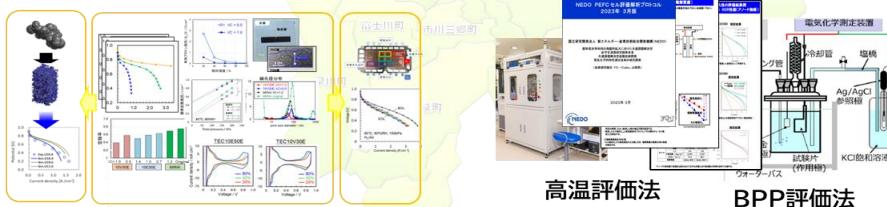
山梨県

新生FC-Cubicの将来戦略



研究紹介

- ・評価解析プラットフォーム進捗
- ・電気化学解析技術の進歩と活用



山梨から世界へ羽ばたく研究拠点

FC-Cubic会場展示と下記イベントサイトで公開予定  
 こちらからお入りください⇒[クリック](#)

	タイトル	発表者	発表内容
1	RDE評価法	Inas H. Hafez	燃料電池触媒の評価方法として、回転電極(RDE)法の概要と注意すべき点について紹介する。
2	MEA評価解析手法	岸尾拓弥	膜-電極接合体(MEA)の発電特性評価法の概要と、特性支配因子ごとの指標に分離評価する手法を紹介する。
3	BPP特性評価 ～耐食性試験～	牧野 翔	バイポーラプレートの表面処理層の耐食性評価方法について紹介する。
4	BPP特性評価 ～接触抵抗試験～	昇 一隆	バイポーラプレートの対GDL接触抵抗の評価方法について紹介する。
5	GDL特性評価・解析	山田春彦	発電特性に及ぼすガス拡散(GDL)の寄与、特にガス拡散抵抗を分離評価する方法と留意点について紹介する。
6	GDL耐久評価 プロトコルの検討	坂野 翼	GDLの機械特性やガス拡散特性の耐久評価方法について紹介する。
7	MEA高温評価技術	青木 努	100℃を超える発電が触媒耐久に与える影響を評価する方法と評価事例を紹介する。
8	CCM試作技術	大木真理亜	CCM試作技術及び触媒層物性評価手法の紹介
9	高分子電解質膜 物性評価技術	黒田清一	温湿度制御下での膜物性評価技術(含水量、伝導度、ガス透過、引張試験)を紹介する。
10	(山梨県産業技術センター) 開発材料の セル特性評価	三神武文	NEDO事業での新規開発材料のセル特性評価方法を紹介する。



## 山梨大学 水素・燃料電池シンポジウム

日時：2023年7月10日(月) 15:00~17:00 (予定)

場所：講演会：山梨大学 大村智記念学術館 大村記念ホール

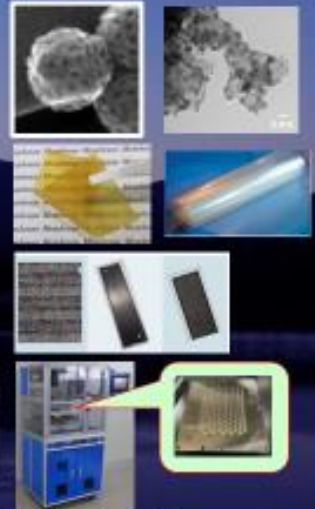
見学会：山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター

講演プログラム：(案)

- ・山梨大学における水素・燃料電池の取り組み概要
- ・商用車用燃料電池電極触媒・担体研究
- ・燃料電池及び水電解用炭化水素系電解質材料研究
- ・高出力密度を実現するGDL一体型セパレータ研究
- ・静電スプレーによる均一インク塗工研究

見学会：(案)

- ・単セル評価装置(燃料電池・水電解)、電子顕微鏡、その他



山梨大学 大村智記念学術館

<https://omura-museum.yamanashi.ac.jp/>

山梨大学

水素・燃料電池ナノ材料研究センター

<https://fc-nano.yamanashi.ac.jp/>

**お申し込みは終了しました**



※お車でのご来場はご遠慮ください。

※状況により 講演をナノ材料研究センターに変更する場合があります。

※お申し込みはシンポジウム申し込みページから！

お申し込みサイト→[こちらをクリック](#)

**第11回オープンシンポジウムお申込み**  
 ～新生FC-Cubicのご紹介とモビリティ研究の最新状況～

Registration for the 11th Symposium.  
 Introduction of Brand New FC-Cubic  
 and Latest information about Mobility research.

お申し込みはこちら↓をクリック！

申し込み終了  
7/11会場参加 ■■

申し込み終了  
7/11 Webex参加 ■■

7/11 ストリーミング配信 ■■

申し込み終了  
山梨大学シンポジウム ■■

## 【会場参加のご案内】

**お申し込みは終了しました**



**FC-Cubic山梨**

〒400-1507  
 山梨県甲府市下向山町3147番地  
 米倉山次世代エネルギーシステム  
 研究開発ビレッジ(Nesrad)内

※近隣は公共交通機関がございません。甲府駅⇄米倉山の移動につきましては送迎バスを手配予定です。ダイヤにつきましては参加者確定後にご連絡いたします。

※自家用車でのご来場はご遠慮ください。

※開会途中でのお帰りにつきましては、巡回シャトルバスもしくはタクシーでの移動となります事、ご承知おきください。

※その他、来場に関する詳細につきましては、あらためましてご連絡させていただきます。

## (双方向接続) お申し込みは終了しました

※Webexへの登録となります。以下の手順で登録をお願いいたします。

・ご案内のメールにあるURL:Webexサイトから参加登録をお願いいたします。



webex by CISCO

日本語

## 第11回FC-Cubicオープンシンポジウム

2023年7月11日 火曜日 8:45 - 17:45  
(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

主催者  
FC-Cubicオープンシンポジウム

ミーティングに登録

出席をご希望の場合は、今すぐ登録してください。登録が承認されると、参加するための招待状が送信されます。

登録

こちらをクリック

ミーティングに登録

このフォームに記入してミーティングに登録します。アスタリスク(\*)が付いている項目は必ず入力してください。

\*名前  
名 姓

\*メール  
example@email.com

\*メールアドレスの入力間違いにご注意ください  
 確認済み

\*会社名

\*ご所属 **ポップアップに入力お願いします**

- ・申し込み後にメールで送信される接続情報にて当日サインインしてご参加ください。
- ・回線数が上限に達しましたら受付を終了いたします。  
恐れ入りますが ストリーミングでの申し込みをお願いいたします。

## (ストリーミング配信) お申込みいただけます

・ご案内のメールにある申し込みサイトから参加登録をお願いいたします。  
申し込み後に表示されるYouTubeのURLでご視聴いただけます。

※申し込み後の返信メールにYouTubeのURLを記載しております。

※今回よりオリジナルの申し込みフォームとなります。

○ 運営上のご不明点、ご質問につきましては下記までご連絡いただければ幸いです。

・運営事務局:info-fc3@fc-cubic-event.jp

また、下記でも更新情報をお伝えします。

・公式Twitter:[https://twitter.com/FC3\\_open\\_com](https://twitter.com/FC3_open_com)

・シンポジウムHP:<https://fc-cubic-event.jp/>